

～市政のここが聞きたい～

市民のみなさんの暮らしをより良いものにするため、市に対して質問を行いました。
主要内容をお知らせします。

全ての一般質問を動画で視聴できます

箕面市議会

検索



動画の内容は公式記録ではありません。

中小学区の通学路
変更への提言



大阪維新の会箕面
武智 秀生

問 本年4月10日より西小路地区の通学路が一部変更となった。児童の安全確保に対し複数の保護者から納得できる説明を求められている。①変更の背景と目的②保護者や住民との合意形成と周知③登校時の指導や歩道などの改善の必要性について問う。

答 ①安全を第一に信号機のある横断歩道を通る通学路に変更した。②PTAに説明し理解を得た後、対象地区の保護者に通知文を配布した。③家庭や地域と連携し安全指導に取り組む。ハード面では、グリーンベルト化や路面表示などで安全確保に取り組む。

立地適正化計画と東部
地域の活性化について



自民党市民クラブ
稲野 一三

問 ①人口減少施策である立地適正化計画になぜ取り組むのか。②国文都市4号線は山麓線に接続可能か。③大阪大学箕面キャンパスの跡地活用策と賃貸マンションの空室対策に市は全力で取り組むべきでは。
答 ①将来の人口減少局面も見据え、余力がある段階で計画策定に取り組

む。②北大阪急行線延伸予定の平成32年度を目途に整備を進めたい。③スポーツ施設整備を検討。空室対策は大学と連携し取り組む。
大阪大学箕面キャンパス



自転車安全利用条例
について



大阪維新の会箕面
尾上 克雅

問 ①スケアード・ストレート*講習会への一般市民参加をどのように呼びかけたかを問う。②自転車安全教育デジタル教材がもっと普及するようPRするべきと考えるが見解を問う。③自転車安全運転に関わることを専門に行う部署を配置するべきではないか。

答 ①生徒の保護者や地域団体への案内のほか、ホームページも活用しており、引き続き広く案内していく。②全国で活用されるようインターネットで公開しており、今後、より効果的な周知方法を検討する。③箕面警察署との連携をはじめ、庁内関連部局と協力していく。

箕面市のごみ行政
について



大阪維新の会箕面
神代 繁近

問 ①平成15年度の「家庭ごみ原則無料化」実施以降、ごみ排出量は一定減量しているが、大事なのは市民意識で、どのように変化してきたか。②スマートフォンを活用した「ごみアプリ」の検討は。③カラス被害対策は。④組織の在り方を含め、今後の取り組みは。

答 ①ごみの発生抑制や環境に対する意識向上が見られる。②効果的な方法と考えており、導入に向け検討中である。③被害防止啓発チラシ配布や適正なごみ集積設備設置を指導している。④委託拡大後も一部は直営を続け、更に、ごみ施策検討部門も必要と考えている。

都市計画マスタープラン
の見直しについて



自民党市民クラブ
中井 博幸

問 延伸により利便性が向上する北急沿線に宅地化の圧力が高まり、市内での人口移動現象が起こらないか。①今まで市が示してきた西部・中部・東部の世代別人口推計を見直す必要はないか。②今後、市全体がバランスよく緩やかに発展するために何に力を入れるのか。

答 ①見直しが必要と考えており、現在策定中の地方版総合戦略で、より専門的に人口推計を行う。②勤労・子育て世代の流入促進、高齢者向け健康増進機能の誘導、更に、各地域の強みを伸ばし、弱みを解消する努力により、市域全体でバランスのとれた発展をめざしたい。

都市計画道路
桜井石橋線について



自民党市民クラブ
上田 春雄

問 市道桜井石橋線は百楽荘地区の住民が国道171号に出るための主要道路だが、進入口をカーブにして桜井石橋線に接続したのはなぜか。近隣住民への詳細な説明や周知は、どのような方法でされたのか。
答 警察との協議で、両道路の接続は、安全対策上、市道桜井石橋線側でカ

ーブを設ける構造とした。工事着手前に当該地区の自治会長に説明し、周辺住民への周知も意向に従い、自治会内の掲示板で行った。
Image of road construction



AEDの今後の在り方
について



公明党
田中 真由美

問 AED設置施設の入り口には、ステッカーが掲示されていることは認知されてきているが、施設内の設置場所を示す工夫が必要では。
答 大規模施設では特に明示が必要。早急に施設の管理者と調整し、設置場所の分かりやすい表示を行う。
問 市民がAEDを利用しやすくなる

よう、AED設置の民間施設に一般利用の促進を願い、登録制にして有効活用してはどうか。
答 民間施設を活用し、市民が24時間AEDを使用できる環境を作るとは、救命率の向上に大変有効である。他自治体の取り組みを研究し、制度化に向け検討を進める。

市民野球場について



自民党市民クラブ
林 恒男

問 6月17日に行われた市長・大阪大学総長による大阪大学箕面キャンパス移設の記者会見では、現キャンパス跡地に、総合運動場などのスポーツ施設の整備を検討することだった。ならば、砂じん対策などの課題を抱える現在の市民野球場を移設してはどうか。

答 現キャンパス跡地への市民野球場移転は、長年の課題を解決し、小・中学生の硬式野球使用などによる稼働率向上や市内外からの訪問者数増加が見込まれ、それがまちの活性化にもつながることから、地元との調整は必要だが、設備面や運営面なども含めて検討していく。



*スケアード・ストレート…事故現場を再現してみせるなど、恐怖を実感することで、それにつながる危険行為を未然に防ぐ教育手法。

箕面市の学校給食について



箕面政友会
川上 加津子

問①箕面産野菜が学校給食で使用され、地産地消率が向上するに至った取り組みは。②給食物資の品質維持や安全性確保のために設置された物資購入委員会が廃止になった理由は。③農業公社、農家、行政、学校関係者で意見交換し、物資選定を行う組織の必要性は。

答①野菜を献立に最大限活用するための出荷予定表活用など、関係者全てが地産地消に向け取り組んだ。②農業公社による全物資納入に伴い廃止。代わりに物資規格書で発注、確認を行っている。③献立作成委員会への情報提供や農業公社の参加など連携強化に取り組む。

快適環境づくり計画を市民や事業者とともに



無所属
北川 照子

問「温室効果ガス26%削減」の政府案が決定した。市は計画にある農地や森林保全に加え、平成14年に始めたエコショップの有効策の検討が必要。エコショップは環境に配慮した商品をそろえ、消費者に周知して下さるパートナー。登録店の現状と今後の在り方を問う。

答現在158店舗がエコショップとして登録され、エコバッグ持参客への値引きや空調機器の省エネルギー化など、登録時から一歩進んだ取り組みが実施されている。エコショップ制度の今後について、第2次快適環境づくり計画の在り方と併せて検討していく。

発達障がいにおける通級指導教室の現状は



無所属
増田 京子

問①小学校の通級指導教員は実践的で発達課題の見立ても正確なため、保護者の信頼も厚いが、教室は小学校4校、中学校1校にしかなく、増やすべきでは。②通級指導教員の幼稚園、保育所への巡回相談実施は、ライフステージを通した取り組みの一步になるのでは。

答①小学校は中学校区に1校の設置をめざすとともに、中学校は二つの動向を見極め、適宜大阪府教育委員会に増設要請していく。②幼稚園などとの連携で幼児期における障がいなどの早期発見・早期対応、小学校への円滑な接続などができており、継続実施していく。

新たな電子自治体の取り組みについて



公明党
西田 隆一

問本市は、電子自治体への推進に取り組んでいるが、その全体像が明確に見えない。①クラウド^{※2}も含めた電子化の方向性は。②クラウド化の工程と進捗状況は。③緊急時を想定した情報セキュリティ対策をどのように考え準備しているのか。

答①システムの新規導入や再構築時は原則クラウド化を推奨。②平成29年度末を目標に市庁舎の電算室機能の堅牢なデータセンターへの移設を検討中。③システム機能やデータ保全を最優先として、手順のマニュアル化や定期的なデータのバックアップを行っている。



※1 通級指導教室…小・中学校の通常の学級に在籍する比較的軽度の障がいがある児童生徒に対して、各教科などの指導は主として通常の学級で行いつつ、個々の障がいに応じた指導・支援については別の教室で行う教育形態。
※2 クラウド…データを自分のパソコンや携帯端末などではなく、インターネット上に保存する使い方、サービスのこと。自宅、会社、学校、図書館、外出先など、さまざまな環境のパソコンや携帯電話(主にスマートフォン)からでもデータの閲覧や編集などができる。

平和、幸福追求、学ぶ権利を保障する教科書を



日本共産党
名手 宏樹

問来年4月から中学校で使用される教科書の選定作業が行われているが、いつまでにどのように行われるのか。教育現場で使われる教科書は、子どもを知る現場での調査選定が尊重され、憲法の平和・民主主義・人権が重んじられるよう重視されるべきと考えるが見解は。

答選定委員会を設置し、教科書の調査研究を行うよう諮問。その答申内容や市民意見を踏まえて検討協議し、8月10日の教育委員会定例会で採択予定。教育委員会の責任のもと、箕面の子どもに最もふさわしい教科書を公平・公正に選定・採択することが重要と考える。

第四中学校通学路の交通安全対策について



日本共産党
神田 隆生

問第四中学校通学路の交通安全対策について、以下を問う。①箕面の郷北側の新設の自転車通学路の一部区間が完成に至っていないが、今後の見通しは。②第四中学校前道路にハンパの設置や歩道を部分的に整備するなど、更なる交通安全対策を求めると、市の見解は。

答①一部区間で用地交渉が難航し、工事に着手できていない。土地所有者と引き続き交渉を進めていく。②現時点では、用地買収を前提とした事業は困難。ハンパなどの車両の速度抑制策は、現地の状況や周辺の地権者の意向を調査するなど、可能性を検討していく。

子どもを取り巻く多様な課題と支援について



無所属
中西 智子

問子どもたちの「生きる力」を育むための支援策について、①性的少数者の児童生徒への理解と支援体制②発達障害児への支援策と専門性のある教職員の育成、配置③母子世帯の現状把握と市独自の支援策④生活困窮者自立促進支援モデル事業の検証結果の課題を問う。

答①心情に配慮した組織的な支援と適切な対応が必要。②障害に応じた支援教育とOJTや研修を通じた教職員のスキル向上を進めている。③母子家庭は増加傾向で、自立に向けた継続的・包括的支援が必要。④学習支援を世帯全体の支援にいかにつないでいくかが課題。

徘徊模擬訓練など認知症施策の充実を求める



箕面政友会
中嶋 三四郎

問認知症のかたや家族を地域で支える取り組みとして、ネットワークや情報伝達の検証、市民参加による啓発にも効果的な徘徊模擬訓練を、認知症サポーターの活躍の場としても実施を検討できないか。答徘徊による行方不明者を想定した捜索や保護などの訓練は、地域で

の認知症への理解促進に効果があるとされる。先進地の例を学び、訓練の実施と認知症サポーターも参加できる仕組みを検討していく。



西小路堂之前緑地の管理について



箕面政友会
内海 辰郷

問過誤によるクスノキ伐採強行、多額の緑地整備費、公園内での畑づくりなど本緑地に関し、さまざまな問題が発生したが、これらの解決に向け、近江商人の三方よしの精神に見習い、地元西小路よし、行政よし、世間よしとなるよう尽力することを要請するが、見解は。

答市民と行政の協働の重要性を認識の上、地元自治会や近隣住民のみなさんに深くおわびし、今後、最善の道を探求していきたい。そして、担当部署一同猛省し、職場内でのルール徹底と適切な予算措置に努め、市民に親しまれる公園緑地の実現に努めることを決意する。